

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		広聴事項管理事業			担当課	秘書課	担当係	広聴係	管理番号	1311
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち			事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり			根拠法令 個別計画等	深谷市広聴事項対応要領			
	小項目	4	行財政運営の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		市民の意見・要望・提案を市政運営に反映し行政サービスが向上するよう市民を対象に市長への手紙や市長対話会及び子ども議会などを開催し、市民の意見・要望等を把握するものである。								
目的 ※何のために		市民の意見・要望・提案を市政運営に反映し、行政サービスの向上に努める。								
対象 ※誰・何を対象に		市民及び市内の各種団体等								
手段 ※どのように		子ども議会、市長対話会の開催や市長への手紙等により、市民の意見・要望・提案を把握する。								
成果 ※何を求めるか		市民の意見・要望等ニーズを把握する機会の充実を図るものである。								
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	2	広報広聴費	広聴事項管理事業	342,973
本事業の 主な業務		・子ども議会の開催							・	
		・市長対話会の開催							・	
		・市長への手紙・ファックス・Eメール処理業務							・	
		・中学生との対話会							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト） 単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	247,000	309,000	347,000	404,000	454,000	
	決算額	183,711	258,715	287,677	342,973	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	400	0	0	0	
		一般財源	183,311	258,715	287,677	342,973	454,000
人件費	従事職員数（人）	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20	
	人件費相当試算※	17,313,026	17,622,363	18,088,931	18,649,607	19,378,676	
総事業費試算		17,496,737	17,881,078	18,376,608	18,992,580	19,832,676	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	対話会開催回数	目標値	回	20.00	20.00	20.00	20.00			
		実績値	4.00	3.00	15.00	13.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		毎年、定例で開催される開催回数を参考に設定/（実績による）							
	実績値の算出式									
活動指標 2	市長への手紙受理件数	目標値	件							
		実績値	432.00	407.00	435.00	386.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		市民が自発的に寄せるものであり、目標値を設定できない事業である。 / （実績による）							
	実績値の算出式									
成果指標 1	市長対話会参加者数	目標値	人	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00			
		実績値	367.00	378.00	1,562.00	1,279.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		毎年、定例で開催される対話会の参加者見込数を参考に設定 / （実績による）							
	実績値の算出式									
成果指標 2	市長対話会で出された意見・要望等の数	目標値	件							
		実績値	149.00	140.00	205.00	167.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		対話会の参加者が自発的に寄せるものであることから目標値を設定できない事業である。 / （実績による）							
	実績値の算出式									
成果指標 3	市長への手紙のうち施策に反映された件数	目標値	件	100.00	100.00	110.00	110.00			
		実績値	113.00	89.00	110.00	105.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		過去5年の施策に反映された件数の平均を参考に設定 / （実績による）							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	市長への手紙の受理件数は386件で、前年度比では減少となった。一方、意見聴取の取り組みとして、子ども議会、市長と語る集い、中学生との市長対話会を継続して実施できた。併せて、20歳を対象とした意見や提言のアンケート実施と、20歳を祝う会実行委員との対話会も実施できた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	市長への手紙の減少に伴い、施策に反映された件数は、目標値を下回る結果となった。しかし、中学生との市長対話会を継続して実施できたことで、対話会の参加者数は目標値を上回ることができ、子ども議会や対話会などの複数の手段を通じて、幅広い世代から意見を聴取することができた。
			評価者 広聴係長 本庄寛史

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	20歳のかたに対するアンケート調査では、20歳を祝う会の案内状の裏面を活用することで、郵送料などの経費を削減することができた。また、アンケートの回答を郵送での返信ではなく、インターネット上での回答フォームに誘導することでも経費を削減することができた。さらに、回答の集計も電子での集計であることから、業務が効率化され、業務時間の短縮が図られた。子ども議会については、タブレットやパソコンを使用しICT化が図れた。
			評価者 広聴係長 本庄寛史